

運動会の応援をありがとうございました！

28日（土）は、暑く気温の高い中ではありましたが、いい天気恵まれ、運動会を開催することができました。実に3年ぶりとなる運動会であり、コロナ禍と練習期間が限られた中で、子供たちと先生方は、効率よく練習を重ねて、無事実施することができました。お子様方の演技を御参観いただき、いかがでしたでしょうか？なかなか、学校にお越しいただくことも少ない中、子供たちの頑張りを見ていただけたのではないのでしょうか？

また、運動会終了後には、お父様方をはじめ、多くの保護者の皆様方に、片付けを手伝っていただき、誠にありがとうございました。現在、海田西小学校には、力の弱った私を入れて、男性の教員は3名しかいません。重い物品などの設置などは、大変な労力を使っているところ、テントの片付けも、入退場門の片付けも、あっという間に終わりました。職員で行えば、数時間かかることが、一気に終わったことは、保護者の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。こういった奉仕する親の姿は、子供たちに何らかの形で必ず伝わります。本当にありがとうございました。

本年度は、保護者用のテントを張らず、交代制で参観をしていただきましたが、皆様方の御協力で大きな混乱もなく、プログラムを進めることができました。来年度以降の実施方法は、まだはっきりしませんが、今年の方法がベースになると思います。今後とも、御協力をよろしくお願い致します。

登下校時のマスクの着用について

今月中旬くらいから、日中も大変暑くなってまいりました。本年度、海田西小学校では、エアコンが未設置である、「2年生教室」、「日本語教室」に6月中旬くらいまでに、エアコンを新設することになっております。それまでは、窓を開け、扇風機などで対応しますので、御理解をお願いします。

さて、前回の校長だよりでもお知らせしましたが、「登下校時のマスク着用」などについて、御連絡をさせていただきます。

- 登下校時には、熱中症予防の観点から、マスクを外してもよい。
- 体育の時間は、基本的にマスクを外して実施する。
- 感染症予防の観点から、マスクを外す場合は、会話をしない。

とします。登下校時の着用は、各家庭で様々なお考えがありますので、最終的には、各児童の実態を踏まえ、保護者に御判断いただくこととなりますが、暑くなってくるので、マスクを外しての登下校を可能とします。外した場合は、会話を控えて登下校するように、お声かけをよろしくお願い致します。

今後、水泳の授業などでも、マスクを着替えなどのどの時点で外すのかを検討し、児童に伝えてまいります。まだまだ、広島県内にも、海田町内にも、コロナウイルス感染症は、猛威を振るっています。皆様方もくれぐれも御注意ください！

学校ボランティアの募集について

前号でもお伝えしましたように、昨年度から募集しております「学校ボランティア」について、6月になりましたら、募集を開始します。保護者や地域の方々の温かい御支援を求めています。ボランティアの内容は、次のとおりです。

家庭科や書写など、教師1人で指導するよりも、裁縫の「玉止め」「玉結び」、ミシンの指導で、ちょっとしたアドバイスをしていただくこと、また、書写で「ここの止めをしっかりとするといいね」「上手だね」と褒めていただくことなどで、子供たちの学びは、一層深まります。自身のお子さんの学級に出席していただくこともありますので、その際には、学習に臨む姿を間近で感じることもできます。御登録いただいて、お時間の合うときだけでも結構です。ぜひ、奮って御応募いただけると幸いです。子供たちの学びと安全のために、どうぞよろしくお願い致します。

【ボランティアの活動内容】

①	家庭科ボランティア	家庭科の授業で裁縫やミシン、調理実習を行う際に、子供たちの補助をお願いします（指導ではありません）。
②	書写ボランティア	書写の時間に、担任の補助として、子供たちに声かけなどをお願いします（指導ではありません）。
③	登下校指導ボランティア	毎日の登下校時に、交通状況の激しい箇所を、20分程度見守りをお願いします（立番場所、時間は個別に相談）。
④	活動引率等ボランティア	学校内外での見学や活動など、子供たちの安全のための引率補助をお願いします（社会見学引率補助など）。

※ 御登録いただきましたら、学校から、来ていただける日時の調整をいたします。

校長の真面目な子育て日記⑮

3年ぶりの運動会、開催できてよかったですね。やはり、子供たちは、多くの保護者が参観される中、練習よりも本番の方が張り切っています。子供たちは、こういった緊張感の中でこそ、大きく成長をしていくものです。大人が、気を利かせすぎて、先に先に手を打つことは、その場ではよくても、将来の子供の成長にはマイナスになることもあるのです。我が家のツンデレ娘は、1人っ子で、大人の目が良く届きすぎるため、幼児の頃から、「こうしたらいいよ」とか「こっちの方がいいんじゃない」と、声を掛けすぎたと反省をしています。子供は、「失敗の中から学ぶものが多くある」と思います。運動会の本番で、こけてしまったり、間違えてしまったりして、少し恥ずかしい思いをしても、保護者の皆様がしっかりと努力を認めて、おおらかな心で声を掛けていただくことで、目に見えない成長をするはずですよ！

先日、自主的な研修会に参加したときに、35歳の若さで亡くなられた「荒木佳奈」先生が残した詩集をいただきました。心が洗われました。時々、ここのコーナーでご紹介します。

「言葉にはことだまがある」

言葉って大事。

言霊があるからね。

荒木先生が取り組んでいた思いやりのことばです。

「あいうえお 言霊集」

「あ」ありがとう、「い」い〜ネッ、「う」うれしい、「え」えがおで、「お」おもしろい
こんな言葉を素直に言えるようになりたいものですね。まずは、我が家から！！